

様式 1

外部評価委員会結果記録書

平成 24 年 2 月 6 日作成

評 価 年 月 日	平成 24 年 1 月 27 日
評 価 の 概 要	<p>1 内部環境監査については、昨年度の結果と比較すると、対象所属が増えているが、指摘の件数はほぼ同数であり、また、指摘内容も軽微な案件の比率が上がっており、全体として徐々に改善がなされていると考える。</p> <p>ただ、一方で、軽微な指摘事項が依然として存在することは、担当者の事務手続きの遅延等が原因と思われ、残念であり、今回の改善に期待する。</p> <p>2 内部環境監査については、監査員のレベルが上がってきており、適切な指摘がなされているが、引き続きその質を維持すること。</p> <p>3 目標設定方法の変更、進捗管理の強化及び事務の簡素化などの今回のシステムの見直しは、有意義なものとする。ただ、目標設定方法について詳しい説明をするなど、実効性を確保するように工夫されたい。</p> <p>4 省エネの優良な取組は、その効果も併せて、タイムリーに各所属へ示すこと。また、省エネ点検月間については、夏場の実施も検討されたい。</p>